

1-7 附属中の探究(総合的な学習の時間)

(1) 研究仮説

ア 学校の概要

竜ヶ崎第一高等学校附属中は、今年度、開校3年目を迎え、各学年40名ずつ、計120名の生徒が在籍している。

イ 探究活動の概要

探究活動(総合的な学習の時間)の内容は、地域の課題解決及び、各自が考えたテーマによる課題研究とし、グループワークと個人の活動を組み合わせて進めることとした。


本校生徒は1人1台、Chromebookが貸与されており、オンラインでの授業配信や調べ学習、課題提出、アンケート・レジュメ・ポスター作成、リモートでの意見交換などに活用している。

ウ 研究仮説

さまざまなユニットのもと、地域の課題解決学習や各自の興味・関心に基づいた探究活動を実施し、探究の過程(課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現)を複数回反復することで、生徒の「問う力」を育成することができるであろう。

(2) 実践(今年度の中1・中2の取組)

ア 概要

時期	取組	実施内容	形式
4月 ～9月	地域の「困った」 にコミット!	・班に分かれて地域課題の解決に向けた企画を立案し、本県の事業(IBARAKI ドリームパス)に代表の6件が応募した。うち1件(「とある商店街を異世界化してしまった件について。」)が1次審査を通過した。	グループ
10月 ～3月	興味があることを 探究しよう	・各自の興味関心に基づいて立てたテーマに沿って、附属中の全教員が担当するゼミ(分野:国語・社会・数学・理科・国際・心理・ロボコン・地域課題解決)に所属し、研究した。 	個人

関鉄竜ヶ崎線乗車体験

(3) 評価(1回生{現3年生}の3か年のふりかえり)

ア 取組

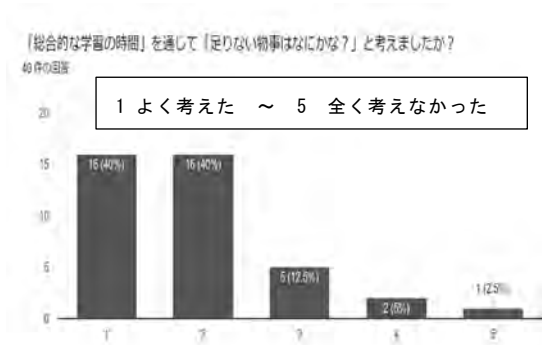
時期	取組	実施内容	形式
中1	①地域の「困った」 にコミット!	・班に分かれて地域課題の解決に向けた企画を立案し、本県の事業(IBARAKI ドリームパス)に応募した。	グループ
中1	②興味があることを 探究しよう	・各自の興味関心に基づいて立てたテーマに沿って、附属中の全教員が担当するゼミに所属し、研究した。	個人
中2	③地域の「困った」 にコミット!	・班に分かれて地域課題の解決に向けた企画を立案し、本県の事業(IBARAKI ドリームパス)に応募した。	グループ
中2	④興味があることを 探究しよう	・各自の興味関心に基づいて立てたテーマに沿って、附属中の全教員が担当するゼミに所属し、研究した。	個人
中2	⑤防災に関する探 究	・龍ヶ崎市危機管理課、県防災士会と連携し、災害が予想される際に、時間軸に沿って取るべきマイタイムラインを考えた。また、避難所の設営訓練を行った。	グループ
中3	⑥京都クラス別行 動に関するプレ ゼン	・研修旅行(広島・京都方面)のコースを決定するために、班ごとに、「京都で、クラスで見学・体験したいコース」を考えてプレゼンテーションを行った。	グループ
中3	⑦興味があることを 探究しよう	・各自の興味関心に基づいて立てたテーマに沿って、附属中の全教員が担当するゼミに所属し、研究した。	個人

イ 生徒の感想・アンケートより *単位：人

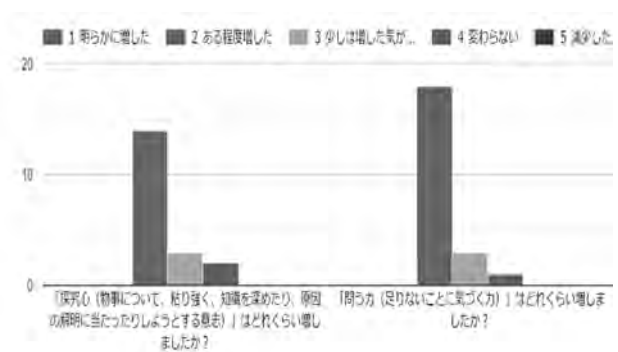
【質問1】 中学での3年間、課題研究を行ってきた中で、自分の成長につながったと考えるものをすべて選んでください（複数回答可）。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	なし
10	17	8	20	20	18	19	1

【質問2】



【質問3】



【生徒の感想より】

- 個人探究などでは自分が知りたいこと、考えてみたいことを、時間をかけてじっくり考え、知ることができた。普段勉強していて分からない問題など身近なところから、社会への疑問など大きな疑問などをそのままにしておくのではなく、周りの人に教えてもらったり意見を聞いたりするのは大切だと思った。これからも小さな疑問を放っておかず、その時に解決をしていきたい。また、社会の役に立てるようになるためにどんなことをすればよいのか考えていきたい。
- 今年の探究活動では、自分で最初に考えた探究が完成した後、その探究を生かしてさらに深めることはできないかと考え、実行することができた。また、その考えをポスターにまとめる中で、読む相手が知らない前提条件はないか、わかりにくい部分はないかと精査して、読みやすいように調整することができた。
- 「問う力」のみでなく、中学入学までに得ることができなかった「分析力」や、ICTの活用法も身につけることができました。特に、現在取り組んでいる個人探究では、自分自身で一からデータ収集や仮説立てを行い、物事を捉える視野を広げることができています。
- 総合的な学習の時間を通じて、個人探究などでやりたいことや興味を持ったことをより深く学ぶことができました。試行錯誤を繰り返すことによって、よりよい探究にすることができました。また、そういったことを学ぶことにより、将来役に立つ心の持ち方や進路、問う力について考えることができました。3年間指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。
- 普段から不思議に思うことなどをそのままにせず、自分で調べようとする力がついたと思う。これらは将来に役立つ重要な授業だと思う。
- 総合的な学習の時間では、与えられた問いに答えるのではなく、自ら問いを見つけ、それを発展させていく力が身につきました。特に、探究活動では、テーマ決定からポスター発表まで自分で計画を立てて進めていくので、自分に足りないものはなにか、どうすれば内容を深めることが出来るかを、現状を見つめ直して、新たな視点で考えることの大切さを学びました。
- 自分の興味のあることや好きなことに、課題や謎を見出して、その解決のために考えて行動することはとても楽しかった。今後も続けていきたい。また、自分が行っている研究も結果が出ていないので、これからもその研究を続けたいと思う。

ウ 考察

生徒の感想やアンケートからは、ほぼ全ての生徒が、この3年間の取組を通じて「問う力」や課題発見・解決力、継続する力などさまざまな面で成長できた、と認識していることが分かる。附属中の全職員が指導に携わったことに加え、龍ヶ崎市役所・商工会・地元の企業・団体等の幅広い支援等によるものと考えられる。

エ 今後の課題

個人での探究活動に生徒は達成感や充実感を抱いている。次年度以降、地域の課題解決とあわせ、各自の知的好奇心を充足させる探究活動をさらに深化させていきたい。